

## 【300床以下】

番号	項目	回答数	比率
1	輸血副作用の報告体制の確立	72	55.81%
2	輸血実施手順書	90	69.77%
3	24時間体制の確立	18	13.95%
4	自己血輸血の推進	33	25.58%
5	適正輸血実施状況(保険返戻、廃棄血削減)	84	65.12%
6	問題症例の検討	25	19.38%
7	末梢血幹細胞採取	5	3.88%
8	院内採血	13	10.08%
9	輸血関連検査	57	44.19%
10	血液在庫体制	54	41.86%
11	インシデント報告	35	27.13%
12	コンピュータ管理・照合システム	17	13.18%
13	インフォームドコンセント	49	37.98%
14	遡及調査	65	50.39%
15	血漿分画製剤の適正使用	32	24.81%
16	その他	22	17.05%

## 【300床以上】

番号	項目	回答数	比率
1	輸血副作用の報告体制の確立	309	52.02%
2	輸血実施手順書	346	58.25%
3	24時間体制の確立	104	17.51%
4	自己血輸血の推進	235	39.56%
5	適正輸血実施状況(保険返戻、廃棄血削減)	516	86.87%
6	問題症例の検討	164	27.61%
7	末梢血幹細胞採取	26	4.38%
8	院内採血	90	15.15%
9	輸血関連検査	279	46.97%
10	血液在庫体制	255	42.93%
11	インシデント報告	236	39.73%
12	コンピュータ管理・照合システム	151	25.42%
13	インフォームドコンセント	253	42.59%
14	遡及調査	425	71.55%
15	血漿分画製剤の適正使用	162	27.27%
16	その他	145	24.41%

33. 委員会で議論した項目中改善など具体的効果が得られた事項は 複数回答

【全体／病床数未記入も含む】

番号	項目	回答数	比率
1	輸血副作用の報告体制の確立	272	38.31%
2	輸血実施手順書	351	49.44%
3	24時間体制の確立	103	14.51%
4	自己血輸血の推進	161	22.68%
5	適正輸血実施状況(保険返戻、廃棄血削減)	411	57.89%
6	問題症例の検討	94	13.24%
7	末梢血幹細胞採取	10	1.41%
8	院内採血	55	7.75%
9	輸血関連検査	160	22.54%
10	血液出庫体制	228	32.11%
11	インシデント報告	157	22.11%
12	コンピュータ管理・照合システム	116	16.34%
13	インフォームドコンセント	208	29.30%
14	遡及調査	253	35.63%
15	血漿分画製剤の適正使用	86	12.11%
16	その他	59	8.31%

【300床以下】

番号	項目	回答数	比率
1	輸血副作用の報告体制の確立	53	42.40%
2	輸血実施手順書	72	57.60%
3	24時間体制の確立	15	12.00%
4	自己血輸血の推進	23	18.40%
5	適正輸血実施状況(保険返戻、廃棄血削減)	55	44.00%
6	問題症例の検討	13	10.40%
7	末梢血幹細胞採取	2	1.60%
8	院内採血	9	7.20%
9	輸血関連検査	32	25.60%
10	血液出庫体制	44	35.20%
11	インシデント報告	23	18.40%
12	コンピュータ管理・照合システム	13	10.40%
13	インフォームドコンセント	38	30.40%
14	遡及調査	28	22.40%
15	血漿分画製剤の適正使用	17	13.60%
16	その他	7	5.60%

【300床以上】

番号	項目	回答数	比率
1	輸血副作用の報告体制の確立	217	37.35%
2	輸血実施手順書	276	47.50%
3	24時間体制の確立	85	14.63%
4	自己血輸血の推進	136	23.41%
5	適正輸血実施状況(保険返戻、廃棄血削減)	352	60.59%
6	問題症例の検討	80	13.77%
7	末梢血幹細胞採取	8	1.38%
8	院内採血	45	7.75%
9	輸血関連検査	127	21.86%
10	血液出庫体制	182	31.33%
11	インシデント報告	134	23.06%
12	コンピュータ管理・照合システム	102	17.56%
13	インフォームドコンセント	168	28.92%
14	遡及調査	224	38.55%
15	血漿分画製剤の適正使用	68	11.70%
16	その他	52	8.95%

34. 委員会で議論した項目中なお改善を要する事項は 複数回答

【全体／病床数未記入も含む】

番号	項目	回答数	比率
1	輸血副作用の報告体制の確立	169	25.88%
2	輸血実施手順書	117	17.92%
3	24時間体制の確立	33	5.05%
4	自己血輸血の推進	124	18.99%
5	適正輸血実施状況(保険返戻、廃棄血削減)	355	54.36%
6	問題症例の検討	76	11.64%
7	末梢血幹細胞採取	8	1.23%
8	院内採血	34	5.21%
9	輸血関連検査	140	21.44%
10	血液出庫体制	63	9.65%
11	インシデント報告	56	8.58%
12	コンピュータ管理・照合システム	106	16.23%
13	インフォームドコンセント	72	11.03%
14	遡及調査	114	17.46%
15	血漿分画製剤の適正使用	101	15.47%
16	その他	39	5.97%

【300床以下】

番号	項目	回答数	比率
1	輸血副作用の報告体制の確立	34	32.08%
2	輸血実施手順書	26	24.53%
3	24時間体制の確立	5	4.72%
4	自己血輸血の推進	16	15.09%
5	適正輸血実施状況(保険返戻、廃棄血削減)	46	43.40%
6	問題症例の検討	8	7.55%
7	末梢血幹細胞採取	0	0.00%
8	院内採血	3	2.83%
9	輸血関連検査	19	17.92%
10	血液出庫体制	6	5.66%
11	インシデント報告	7	6.60%
12	コンピュータ管理・照合システム	11	10.38%
13	インフォームドコンセント	12	11.32%
14	遡及調査	17	16.04%
15	血漿分画製剤の適正使用	10	9.43%
16	その他	6	5.66%

【300床以上】

番号	項目	回答数	比率
1	輸血副作用の報告体制の確立	134	24.68%
2	輸血実施手順書	90	16.57%
3	24時間体制の確立	28	5.16%
4	自己血輸血の推進	107	19.71%
5	適正輸血実施状況(保険返戻、廃棄血削減)	306	56.35%
6	問題症例の検討	67	12.34%
7	末梢血幹細胞採取	8	1.47%
8	院内採血	30	5.52%
9	輸血関連検査	121	22.28%
10	血液出庫体制	57	10.50%
11	インシデント報告	49	9.02%
12	コンピュータ管理・照合システム	94	17.31%
13	インフォームドコンセント	59	10.87%
14	遡及調査	95	17.50%
15	血漿分画製剤の適正使用	89	16.39%
16	その他	33	6.08%

### 3) 輸血療法の実績について

#### 35. 年間血液使用量（自己血を含む、自己血は全血保存として換算）年度集計可

【全体／病床数未記入も含む】

年度	項目	施設数	最小	最大	平均
2003年	単位	773	0	196631	10435.42
	袋(本)	715	0	32264	3070.10
2004年	単位	772	0	192441	9922.66
	袋(本)	719	0	33166	2902.86

【300床以下】

年度	項目	施設数	最小	最大	平均
2003年	単位	166	0	34911	1287.50
	袋(本)	155	0	4736	513.84
2004年	単位	168	0	27860	1225.65
	袋(本)	157	0	3827	496.47

【300床以上】

年度	項目	施設数	最小	最大	平均
2003年	単位	603	0	196631	12996.71
	袋(本)	556	2	32264	3793.18
2004年	単位	599	0	192441	12415.63
	袋(本)	558	0	33166	3590.54

#### 36. 年間の輸血実施患者実数（自己血輸血患者を含む）年度集計可

【全体／病床数未記入も含む】

年度	施設数	最小	最大	平均
2003年	655	0	11328	741.92
2004年	680	0	10356	739.36

【300床以下】

年度	施設数	最小	最大	平均
2003年	157	0	1714	127.50
2004年	163	0	1778	127.36

【300床以上】

年度	施設数	最小	最大	平均
2003年	494	0	11328	938.00
2004年	513	0	10356	934.43

37. 製剤別血液製剤使用量（年間使用単位数及び袋数、自己血は全血保存として換算）  
年度集計可

【全体／病床数未記入も含む】

2003年

製剤名	項目	施設数	最小	最大	平均
全血製剤	単位	637	0	20591	83.20
	袋（本）	589	0	8247	44.42
赤血球製剤	単位	784	0	22789	2929.95
	袋（本）	725	0	44270	1714.43
血小板製剤	単位	770	0	172985	5693.31
	袋（本）	717	0	14929	524.73
新鮮凍結 血漿	単位	772	0	49928	2084.22
	袋（本）	718	0	19002	904.65
自己血	単位	715	0	2495	259.78
	袋（本）	672	0	1406	139.40

2004年

製剤名	項目	施設数	最小	最大	平均
全血製剤	単位	634	0	18563	70.66
	袋（本）	587	0	7474	34.98
赤血球製剤	単位	783	0	25440	2845.91
	袋（本）	728	0	48153	1656.06
血小板製剤	単位	773	0	168895	5494.92
	袋（本）	716	0	14450	512.42
新鮮凍結 血漿	単位	768	0	56071	1923.50
	袋（本）	716	0	18860	816.05
自己血	単位	716	0	2245	252.94
	袋（本）	675	0	1820	142.18

【300床以下】

2003年

製剤名	項目	施設数	最小	最大	平均
全血製剤	単位	121	0	580	11.27
	袋(本)	112	0	322	6.73
赤血球製剤	単位	170	0	3489	552.43
	袋(本)	159	0	44270	611.99
血小板製剤	単位	159	0	31020	593.77
	袋(本)	150	0	2780	59.63
新鮮凍結 血漿	単位	161	0	3992	271.74
	袋(本)	152	0	1996	130.98
自己血	単位	134	0	1974	54.19
	袋(本)	130	0	1023	29.61

2004年

製剤名	項目	施設数	最小	最大	平均
全血製剤	単位	127	0	438	9.87
	袋(本)	118	0	278	6.23
赤血球製剤	単位	173	0	3854	530.56
	袋(本)	163	0	48153	615.92
血小板製剤	単位	162	0	24740	533.93
	袋(本)	151	0	2165	50.21
新鮮凍結 血漿	単位	160	0	5025	281.85
	袋(本)	151	0	2518	139.72
自己血	単位	137	0	2245	55.85
	袋(本)	129	0	1322	31.79

【300床以上】

2003年

製剤名	項目	施設数	最小	最大	平均
全血製剤	単位	512	0	20591	100.51
	袋(本)	473	0	8247	53.53
赤血球製剤	単位	610	1	22789	3599.54
	袋(本)	562	2	11582	2030.56
血小板製剤	単位	607	0	172985	7056.08
	袋(本)	563	0	14929	651.32
新鮮凍結 血漿	単位	607	0	49928	2573.79
	袋(本)	562	0	19002	1118.04
自己血	単位	577	0	2495	308.06
	袋(本)	538	0	1406	166.25

2004年

製剤名	項目	施設数	最小	最大	平均
全血製剤	単位	503	0	18563	86.24
	袋(本)	466	0	7474	42.30
赤血球製剤	単位	605	1	25440	3518.21
	袋(本)	561	2	12845	1962.85
血小板製剤	単位	606	0	168895	6853.89
	袋(本)	561	0	14450	639.15
新鮮凍結 血漿	単位	603	0	56071	2369.89
	袋(本)	561	0	18860	1001.64
自己血	単位	574	0	2199	300.96
	袋(本)	542	0	1820	168.79



38. 廃棄血液量（年間廃棄血液単位数及び袋数，自己血は全血保存として換算）

年度集計可

【全体／病床数未記入も含む】

2003年

製剤名	項目	施設数	最小	最大	平均
全血製剤	単位	610	0	2037	8.48
	袋（本）	570	0	1237	4.93
赤血球製剤	単位	761	0	2050	136.78
	袋（本）	713	0	1196	79.21
血小板製剤	単位	674	0	1622	45.05
	袋（本）	631	0	131	4.40
新鮮凍結 血漿	単位	711	0	1230	27.25
	袋（本）	670	0	428	12.32
自己血	単位	636	0	678	27.63
	袋（本）	609	0	352	14.70

2004年

製剤名	項目	施設数	最小	最大	平均
全血製剤	単位	611	0	1049	5.97
	袋（本）	574	0	353	3.03
赤血球製剤	単位	759	0	1553	119.93
	袋（本）	709	0	638	68.11
血小板製剤	単位	689	0	1381	42.29
	袋（本）	647	0	122	3.93
新鮮凍結 血漿	単位	723	0	802	27.05
	袋（本）	684	0	214	11.59
自己血	単位	656	0	690	28.92
	袋（本）	625	0	346	15.20

【300床以下】

2003年

製剤名	項目	施設数	最小	最大	平均
全血製剤	単位	113	0	174	2.16
	袋(本)	106	0	87	1.32
赤血球製剤	単位	162	0	542	64.37
	袋(本)	150	0	286	38.15
血小板製剤	単位	121	0	265	8.15
	袋(本)	115	0	23	0.77
新鮮凍結 血漿	単位	131	0	56	7.10
	袋(本)	124	0	36	4.08
自己血	単位	109	0	38	3.72
	袋(本)	107	0	31	2.22

2004年

製剤名	項目	施設数	最小	最大	平均
全血製剤	単位	117	0	158	1.79
	袋(本)	111	0	79	1.23
赤血球製剤	単位	159	0	1553	72.51
	袋(本)	148	0	381	39.23
血小板製剤	単位	125	0	350	12.42
	袋(本)	118	0	35	1.05
新鮮凍結 血漿	単位	138	0	75	8.41
	袋(本)	133	0	43	4.26
自己血	単位	114	0	88	3.89
	袋(本)	109	0	45	2.17

【300床以上】

2003年

製剤名	項目	施設数	最小	最大	平均
全血製剤	単位	494	0	2037	9.95
	袋(本)	461	0	1237	5.77
赤血球製剤	単位	595	0	2050	155.91
	袋(本)	559	0	1196	89.70
血小板製剤	単位	550	0	1622	53.37
	袋(本)	513	0	131	5.24
新鮮凍結 血漿	単位	577	0	1230	31.90
	袋(本)	543	0	428	14.24
自己血	単位	523	0	678	32.59
	袋(本)	498	0	352	17.37

2004年

製剤名	項目	施設数	最小	最大	平均
全血製剤	単位	489	0	1049	6.76
	袋(本)	459	0	353	3.28
赤血球製剤	単位	595	0	1241	132.22
	袋(本)	557	0	638	75.54
血小板製剤	単位	560	0	1381	49.21
	袋(本)	526	0	122	4.59
新鮮凍結 血漿	単位	581	0	802	31.55
	袋(本)	548	0	214	13.39
自己血	単位	537	0	690	34.17
	袋(本)	512	0	346	17.89

39. 輸血用血液保険査定額

【全体/病床数未記入も含む】

年度	施設数	最小(万)	最大(万)	平均(万)
2003年	388	0	4297	132.29
2004年	405	0	6000	117.20

【300床以下】

年度	施設数	最小(万)	最大(万)	平均(万)
2003年	95	0	661	38.97
2004年	96	0	466	29.25

【300床以上】

年度	施設数	最小(万)	最大(万)	平均(万)
2003年	290	0	4297	164.10
2004年	306	0	6000	145.74

#### 40. 院内同種血全血採血件数

【全体／病床数未記入も含む】

年度	施設数	最小	最大	平均
2003年	596	0	819	10.65
2004年	597	0	929	11.69

【300床以下】

年度	施設数	最小	最大	平均
2003年	122	0	106	2.11
2004年	120	0	161	2.05

【300床以上】

年度	施設数	最小	最大	平均
2003年	470	0	819	12.75
2004年	473	0	929	14.02

#### 41. 末梢血幹細胞採取回数

【全体／病床数未記入も含む】

年度	施設数	最小	最大	平均
2003年	592	0	181	6.06
2004年	585	0	104	5.53

【300床以下】

年度	施設数	最小	最大	平均
2003年	124	0	5	0.06
2004年	123	0	2	0.07

【300床以上】

年度	施設数	最小	最大	平均
2003年	464	0	181	7.71
2004年	458	0	104	7.04

#### 42. 血漿分画製剤の保険査定額

【全体／病床数未記入も含む】

年度	施設数	最小 (万)	最大 (万)	平均 (万)
2003年	369	0	3422	142.47
2004年	377	0	2760	110.75

【300床以下】

年度	施設数	最小 (万)	最大 (万)	平均 (万)
2003年	93	0	387	29.06
2004年	92	0	407	24.01

【300床以上】

年度	施設数	最小 (万)	最大 (万)	平均 (万)
2003年	273	0	3422	182.43
2004年	282	0	2760	140.01

#### 4) 輸血副作用（感染症について）

##### 43. 輸血用血液の副作用をどのように管理されていますか

【全体／病床数未記入も含む】

番号	項目	回答数	比率
1	主治医にゆだねられている	202	24.46%
2	輸血部門に報告される体制がある	229	27.72%
3	薬剤部門に報告される体制がある	33	4.00%
4	検査部門に報告される体制がある	259	31.36%
5	院内の委員会などに報告され、検討される	90	10.90%
6	病院管理者が個別に把握している	1	0.12%
7	副作用を管理する体制がない	8	0.97%
8	その他	4	0.48%
	合計	826	

【300床以下】

番号	項目	回答数	比率
1	主治医にゆだねられている	68	36.56%
2	輸血部門に報告される体制がある	21	11.29%
3	薬剤部門に報告される体制がある	10	5.38%
4	検査部門に報告される体制がある	55	29.57%
5	院内の委員会などに報告され、検討される	27	14.52%
6	病院管理者が個別に把握している	1	0.54%
7	副作用を管理する体制がない	3	1.61%
8	その他	1	0.54%
	合計	186	

【300床以上】

番号	項目	回答数	比率
1	主治医にゆだねられている	132	20.79%
2	輸血部門に報告される体制がある	206	32.44%
3	薬剤部門に報告される体制がある	23	3.62%
4	検査部門に報告される体制がある	204	32.13%
5	院内の委員会などに報告され、検討される	62	9.76%
6	病院管理者が個別に把握している		
7	副作用を管理する体制がない	5	0.79%
8	その他	3	0.47%
	合計	635	

##### 44. 報告条件は

【全体／病床数未記入も含む】

番号	項目	回答数	比率
1	副作用の有無にかかわらずすべて報告してもらう	352	43.03%
2	副作用があった症例はすべて報告してもらう	215	26.28%
3	中等度以上の副作用があった症例のみ報告してもらっている	61	7.46%
4	特に決めていない	190	23.23%
	合計	818	

【300床以下】

番号	項目	回答数	比率
1	副作用の有無にかかわらずすべて報告してもらう	56	30.94%
2	副作用があった症例はすべて報告してもらう	55	30.39%
3	中等度以上の副作用があった症例のみ報告してもらっている	9	4.97%
4	特に決めていない	61	33.70%
	合計	181	

【300床以上】

番号	項目	回答数	比率
1	副作用の有無にかかわらずすべて報告してもらう	293	46.36%
2	副作用があった症例はすべて報告してもらう	160	25.32%
3	中等度以上の副作用があった症例のみ報告してもらっている	51	8.07%
4	特に決めていない	128	20.25%
	合計	632	

45. 報告の方法は

【全体/病床数未記入も含む】

番号	項目	回答数	比率
1	用紙運用	606	77.39%
2	コンピュータ入力	30	3.83%
3	電話・FAX対応	84	10.73%
4	その他	63	8.05%
	合計	783	

【300床以下】

番号	項目	回答数	比率
1	用紙運用	119	73.91%
2	コンピュータ入力	1	0.62%
3	電話・FAX対応	16	9.94%
4	その他	25	15.53%
	合計	161	

【300床以上】

番号	項目	回答数	比率
1	用紙運用	484	78.44%
2	コンピュータ入力	29	4.70%
3	電話・FAX対応	67	10.86%
4	その他	37	6.00%
	合計	617	

46. 輸血用血液を輸血する前の患者さんの血液検体を保存していますか

【全体／病床数未記入も含む】

番号	項目	回答数	比率
1	原則的に全ての患者さんの検体を凍結保存している	567	69.15%
2	原則的に全ての患者さんの検体を冷蔵保存している	177	21.59%
3	特別な場合以外、ほとんど保存していない	43	5.24%
4	保存していない	33	4.02%
	合計	820	

【300床以下】

番号	項目	回答数	比率
1	原則的に全ての患者さんの検体を凍結保存している	112	60.22%
2	原則的に全ての患者さんの検体を冷蔵保存している	50	26.88%
3	特別な場合以外、ほとんど保存していない	14	7.53%
4	保存していない	10	5.38%
	合計	186	

【300床以上】

番号	項目	回答数	比率
1	原則的に全ての患者さんの検体を凍結保存している	451	71.70%
2	原則的に全ての患者さんの検体を冷蔵保存している	127	20.19%
3	特別な場合以外、ほとんど保存していない	28	4.45%
4	保存していない	23	3.66%
	合計	629	

保存期間

保存期間一覧は 050318 保存日数.xls 参照

47. 輸血用血液を輸血する前に患者さんの感染症の検査をしていますか

【全体／病床数未記入も含む】

番号	項目	回答数	比率
1	原則的に全ての患者さんの輸血前検査をしている	595	73.10%
2	特別な場合以外、ほとんど検査していない	162	19.90%
3	していない	57	7.00%
	合計	814	

【300床以下】

番号	項目	回答数	比率
1	原則的に全ての患者さんの輸血前検査をしている	139	75.54%
2	特別な場合以外、ほとんど検査していない	30	16.30%
3	していない	15	8.15%
	合計	184	

【300床以上】

番号	項目	回答数	比率
1	原則的に全ての患者さんの輸血前検査をしている	451	72.16%
2	特別な場合以外、ほとんど検査していない	132	21.12%
3	していない	42	6.72%
	合計	625	

48. 問 47 で①を選択した場合は感染症の検査項目は **複数回答項目**

【全体／病床数未記入も含む】

番号	項目	回答数	比率
1	HBs 抗原	605	99.18%
2	HBs 抗体	113	18.52%
3	HBc 抗体	72	11.80%
4	HCV 抗体	602	98.69%
5	HTLV- I 抗体	38	6.23%
6	HIV 抗体	189	30.98%
7	梅毒	539	88.36%

【300床以下】

番号	項目	回答数	比率
1	HBs 抗原	139	99.29%
2	HBs 抗体	26	18.57%
3	HBc 抗体	15	10.71%
4	HCV 抗体	137	97.86%
5	HTLV- I 抗体	7	5.00%
6	HIV 抗体	24	17.14%
7	梅毒	126	90.00%

【300床以上】

番号	項目	回答数	比率
1	HBs 抗原	461	99.14%
2	HBs 抗体	86	18.49%
3	HBc 抗体	57	12.26%
4	HCV 抗体	460	98.92%
5	HTLV- I 抗体	30	6.45%
6	HIV 抗体	165	35.48%
7	梅毒	409	87.96%

49. 輸血用血液を輸血した後に患者さんの感染症の検査をしていますか

【全体／病床数未記入も含む】

番号	項目	回答数	比率
1	原則的に全ての患者さんの輸血後検査をしている	195	23.75%
2	特別な場合以外、ほとんど検査していない	503	61.27%
3	していない	123	14.98%
	合計	821	

【300床以下】

番号	項目	回答数	比率
1	原則的に全ての患者さんの輸血後検査をしている	45	24.32%
2	特別な場合以外、ほとんど検査していない	92	49.73%
3	していない	48	25.95%
	合計	185	



【300床以上】

番号	項目	回答数	比率
1	原則的に全ての患者さんの輸血後検査をしている	149	23.61%
2	特別な場合以外、ほとんど検査していない	408	64.66%
3	していない	74	11.73%
	合計	631	

50. 問 49 で①を選択した場合は感染症の検査項目は 複数回答項目

【全体/病床数未記入も含む】

番号	項目	回答数	比率
1	HBs 抗原	196	87.89%
2	HBs 抗体	47	21.08%
3	HBc 抗体	24	10.76%
4	HCV 抗体	192	86.10%
5	HTLV-I 抗体	23	10.31%
6	HIV 抗体	166	74.44%
7	梅毒	101	45.29%

【300床以下】

番号	項目	回答数	比率
1	HBs 抗原	43	82.69%
2	HBs 抗体	10	19.23%
3	HBc 抗体	4	7.69%
4	HCV 抗体	43	82.69%
5	HTLV-I 抗体	4	7.69%
6	HIV 抗体	35	67.31%
7	梅毒	23	44.23%

【300床以上】

番号	項目	回答数	比率
1	HBs 抗原	152	89.41%
2	HBs 抗体	37	21.76%
3	HBc 抗体	20	11.76%
4	HCV 抗体	148	87.06%
5	HTLV-I 抗体	19	11.18%
6	HIV 抗体	130	76.47%
7	梅毒	78	45.88%

51. 血漿分画製剤の副作用をどのように管理されていますか

【全体/病床数未記入も含む】

番号	項目	回答数	比率
1	主治医にゆだねられている	368	45.94%
2	輸血部門に報告される体制がある	34	4.24%
3	薬剤部門に報告される体制がある	264	32.96%
4	検査部門に報告される体制がある	21	2.62%
5	院内の委員会などに報告され、検討される	63	7.87%
6	病院管理者が個別に把握している	1	0.12%
7	副作用を管理する体制がない	39	4.87%
8	その他	11	1.37%
	合計	801	

【300床以下】

番号	項目	回答数	比率
1	主治医にゆだねられている	109	59.24%
2	輸血部門に報告される体制がある	7	3.80%
3	薬剤部門に報告される体制がある	32	17.39%
4	検査部門に報告される体制がある	6	3.26%
5	院内の委員会などに報告され、検討される	16	8.70%
6	病院管理者が個別に把握している	1	0.54%
7	副作用を管理する体制がない	11	5.98%
8	その他	2	1.09%
	合計	184	

【300床以上】

番号	項目	回答数	比率
1	主治医にゆだねられている	257	41.86%
2	輸血部門に報告される体制がある	27	4.40%
3	薬剤部門に報告される体制がある	231	37.62%
4	検査部門に報告される体制がある	15	2.44%
5	院内の委員会などに報告され、検討される	47	7.65%
6	病院管理者が個別に把握している	0	0.00%
7	副作用を管理する体制がない	28	4.56%
8	その他	9	1.47%
	合計	614	

52. 報告条件は

【全体／病床数未記入も含む】

番号	項目	回答数	比率
1	副作用の有無にかかわらずすべて報告してもらう	59	7.78%
2	副作用があった症例はすべて報告してもらう	242	31.93%
3	中等度以上の副作用があった症例のみ報告してもらっている	81	10.69%
4	特に決めていない	376	49.60%
	合計	758	

【300床以下】

番号	項目	回答数	比率
1	副作用の有無にかかわらずすべて報告してもらう	16	9.36%
2	副作用があった症例はすべて報告してもらう	45	26.32%
3	中等度以上の副作用があった症例のみ報告してもらっている	12	7.02%
4	特に決めていない	98	57.31%
	合計	171	

【300床以上】

番号	項目	回答数	比率
1	副作用の有無にかかわらずすべて報告してもらう	42	7.19%
2	副作用があった症例はすべて報告してもらう	197	33.73%
3	中等度以上の副作用があった症例のみ報告してもらっている	68	11.64%
4	特に決めていない	277	47.43%
	合計	584	

53. 報告の方法は

【全体／病床数未記入も含む】

番号	項目	回答数	比率
1	用紙運用	409	60.32%
2	コンピュータ入力	13	1.92%
3	電話・FAX 対応	115	16.96%
4	その他	141	20.80%
	合計	678	

【300床以下】

番号	項目	回答数	比率
1	用紙運用	73	51.05%
2	コンピュータ入力	2	1.40%
3	電話・FAX 対応	22	15.38%
4	その他	46	32.17%
	合計	143	

【300床以上】

番号	項目	回答数	比率
1	用紙運用	335	62.97%
2	コンピュータ入力	11	2.07%
3	電話・FAX 対応	92	17.29%
4	その他	94	17.67%
	合計	532	

54. 血漿分画製剤を使用する前に患者さんの血液検体を保存していますか

【全体／病床数未記入も含む】

番号	項目	回答数	比率
1	原則的に全ての患者さんの検体を凍結保存している	37	4.84%
2	原則的に全ての患者さんの検体を冷蔵保存している	22	2.88%
3	特別な場合以外、ほとんど保存していない	179	23.40%
4	保存していない	527	68.89%
	合計	765	

【300床以下】

番号	項目	回答数	比率
1	原則的に全ての患者さんの検体を凍結保存している	15	8.33%
2	原則的に全ての患者さんの検体を冷蔵保存している	9	5.00%
3	特別な場合以外、ほとんど保存していない	41	22.78%
4	保存していない	115	63.89%
	合計	180	

【300床以上】

番号	項目	回答数	比率
1	原則的に全ての患者さんの検体を凍結保存している	22	3.78%
2	原則的に全ての患者さんの検体を冷蔵保存している	13	2.23%
3	特別な場合以外、ほとんど保存していない	137	23.54%
4	保存していない	410	70.45%
	合計	582	

保存期間

保存期間一覧は 050318 保存日数.xls 参照

55. 血漿分画製剤を使用する前に患者さんの感染症の検査をしていますか

【全体／病床数未記入も含む】

番号	項目	回答数	比率
1	原則的に全ての患者さんの輸血前検査をしている	200	26.49%
2	特別な場合以外、ほとんど検査していない	231	30.60%
3	していない	324	42.91%
	合計	755	

【300床以下】

番号	項目	回答数	比率
1	原則的に全ての患者さんの輸血前検査をしている	61	34.08%
2	特別な場合以外、ほとんど検査していない	50	27.93%
3	していない	68	37.99%
	合計	179	

【300床以上】

番号	項目	回答数	比率
1	原則的に全ての患者さんの輸血前検査をしている	137	23.91%
2	特別な場合以外、ほとんど検査していない	180	31.41%
3	していない	256	44.68%
	合計	573	

56. 問55で①を選択した場合は感染症の検査項目は **複数回答項目**

【全体／病床数未記入も含む】

番号	項目	回答数	比率
1	HBs 抗原	209	99.52%
2	HBs 抗体	36	17.14%
3	HBc 抗体	22	10.48%
4	HCV 抗体	206	98.10%
5	HTLV-I 抗体	6	2.86%
6	HIV 抗体	51	24.29%
7	梅毒	191	90.95%

【300床以下】

番号	項目	回答数	比率
1	HBs 抗原	65	100.00%
2	HBs 抗体	11	16.92%
3	HBc 抗体	6	9.23%
4	HCV 抗体	64	98.46%
5	HTLV-I 抗体	3	4.62%
6	HIV 抗体	10	15.38%
7	梅毒	62	95.38%